

講座名：「＜まち歩き＞について考える」

講 師：金子 祐介(観光学部 助教)

開 講：2024 年 10 月～11 月（計4回）

＜まち歩き＞は、一般的には、散歩の延長として健康のために行うものとして理解されていますが、本講座では意識して地域を眺め、普段は気づかない新たな発見をしてもらう機会を＜まち歩き＞の目標としています。

2024年度の「＜まち歩き＞について考える」では、千葉県市原市と大多喜町にまたがる養老溪谷地区という観光地を＜まち歩き＞しました。この地域は温泉街として有名ですが、そうした温泉街のイメージとは異なる地域のイメージについて発見をしてもらいました。

第1回「＜まち歩き＞ってなんだ？」

内容：

＜まち歩き＞をすることで理解できることはどのようなものか？

＜まち歩き＞から繋がる取り組みについて

第2回、第3回「＜まち歩き＞の実施」

内容：

2025年度は、九十九里町を検討中

第4回「振り返り」

内容：

1. 振り返り

2. 発見した地域のイメージの共有

受講者の声

- 今まで旅行した時とは違う視点を持つことができた。
- 目的を持った「まち歩き」は貴重な体験だった。
- 様々な考え方や見方が大切であると感じた。
- 金子先生の熱意と情報量に感心した。
- 現在住んでいる町について調べてみようと思った。
- もっと他のまちも歩いて比較してみたい。

まち歩きの様子



地域にねむる遺構を見学



使い方を知っている世代と知らない世代で物の価値を共有



地域の美味しいものを試食



まち歩き最後に記念撮影